

## 町田駅周辺地区における都市再生整備計画の策定について

町田市中心市街地のにぎわいや交流の創出に向けて、原町田大通り及び原町田中央通りを恒常的に活用するために、2021年1月21日に町田駅周辺地区都市再生整備計画（以下、「本計画」という。）を策定したため概要を報告します。

### 1 都市再生整備計画策定の目的

本計画は、町田市中心市街地が選ばれ続ける活気あるまちであるために、「町田市中心市街地まちづくり計画」に基づく「個性と魅力あふれる商店街プロジェクト」及び「原町田大通り憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト」を推進するために策定しました。

### 2 都市再生整備計画の概要

本計画は、2021年度から2023年度までの3か年を計画期間とし、大目標である「賑わいや交流に溢れるまちの実現」を達成するため、3つの目標を掲げ、それぞれに2つから3つの事業を掲げております。また、3つの指標を設定して計画の進捗を測ります。

本計画を基に道路管理者から特例区域としての指定を受けることで、道路空間を活用した、にぎわい・交流創出事業の実施が可能となります。

#### 【計画期間及び目標と事業】

計画期間	2021（R3）年度～2023（R5）年度（3か年）
大目標	賑わいや交流に溢れるまちの実現
目標1	多様なアクティビティ <sup>※1</sup> が生まれる空間の創出
事業	No.1 原町田大通りパークレット <sup>※2</sup> の整備
	No.2 滞留空間の創出（パークレットの活用）
	No.3 交流拠点の社会実験（民間交番の活用）
目標2	安心してゆっくり過ごせる空間の創出
事業	No.4 原町田大通り荷捌き（貨物車専用）スペースの整備
	No.5 原町田中央通りデザインガイドライン <sup>※3</sup> の整備
目標3	また訪れたい魅力ある空間の創出
事業	No.6 広場公園（まちだの泉）の移設
	No.7 エリアマネジメント広告の掲出（デジタルサイネージや街路灯バナー広告等により、まちの魅力を発信し、町田駅の顔として印象的な景観を創出）

※1 アクティビティとは、歩道を歩く、立ち止まって人と話すなどの人が行う活動のこと。

※2 パークレットとは、車道の一部を転用して人のための休憩や飲食ができる空間のこと。

※3 原町田中央通りデザインガイドラインは、沿道建築物や沿道空間の賑わいづくりの手引きとなるもの。

#### 【指標】

指 標	単位	従前値	目標値
アクティビティの数	種類	—	今後設定
滞在時間2時間以上の人の割合	%	52.40	55.20
町田駅周辺の中心市街地を2週間に1回以上の頻度で訪れる人の割合	%	41.70	48.40

# 都市再生整備計画(町田駅周辺地区)概要図

期間	2021(R3)年度～2023(R5)年度	全体事業費	市:168百万円			
目標	大目標: 賑わいや交流に溢れるまちの実現	面積	24.6 ha			
	目標1: 多様なアクティビティが生まれる空間の創出	代表的な指標	アクティビティの数	種類	-	(R2年度) → 今後設定 (R5年度)
	目標2: 安心してゆっくり過ごせる空間の創出		滞在時間2時間以上の人の割合	%	52.40%	(H31年度) → 55.20% (R5年度)
	目標3: また訪れたい魅力ある空間の創出		町田駅周辺の中心街を訪れる頻度	%	41.70%	(H31年度) → 48.40% (R5年度)

